

経営比較分析表

青森県 おいらせ町

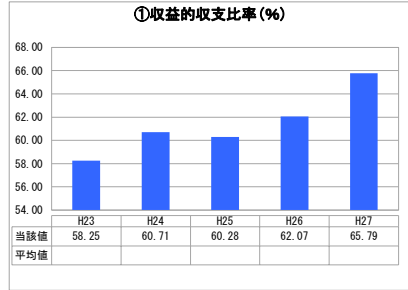
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	12.91	96.30	2,592

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
25,254	71.96	350.94
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,250	1.83	1,775.96

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



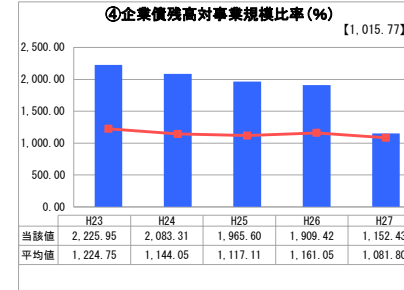
「単年度の収支」



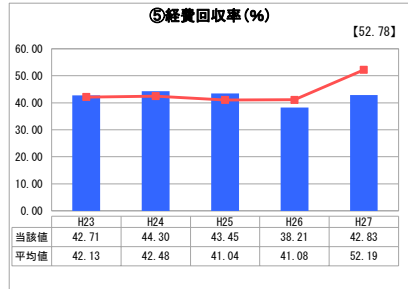
「累積欠損」



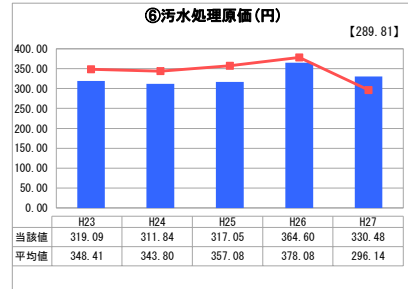
「支払能力」



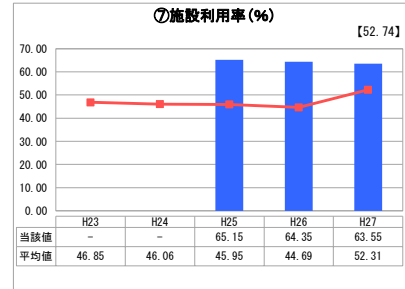
「債務残高」



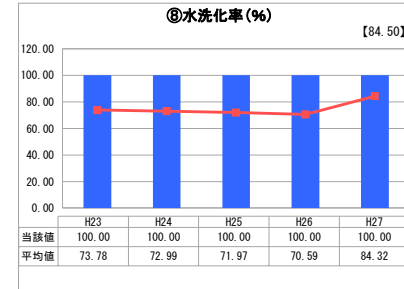
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

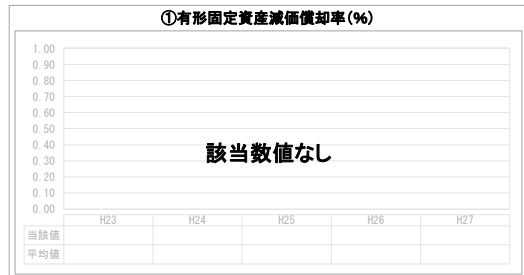


「施設の効率性」

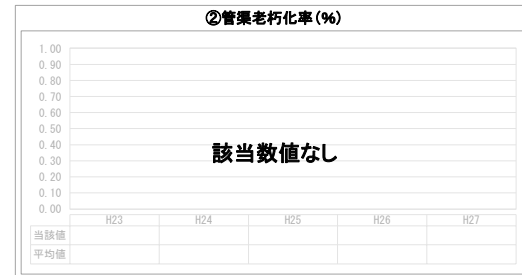


「使用料対象の捕捉」

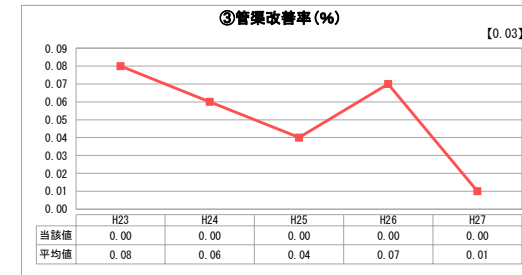
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

経費回収率は類似団体と比較しても同等であるため、表面的には健全性はあるといえる。ただし、収益的収支比率が60%前後で推移し、企業債残高は平成27年度は改善しつつあるものの高い状況である。水洗化率が100%であり、将来的使用料収入増額が見込めない状況から将来に向けて健全性を保っていきけるか危惧されるところである。汚水処理原価の指標から、費用の効率性は保っていると推測されるため維持管理費の費用節減対策を進め効率性をさらに保てる状況はある。

2. 老朽化の状況について

- ・ 供用開始後15年経過している。
- ・ 老朽化は全般的に進んでいないものの、調査・点検により、腐食・破損の状況が明らかになってきているため、最適化構想策定を今後進め、老朽化対策を進めることが必要となっている。

全体概括

【総括】

比較的健全性、効率性を維持している状況である。しかし企業債残高が高く将来の負債を多く抱えていることに留意しなければならない。健全性を維持するためにも経費縮減対策と使用料単価の見直し等経営効率に配慮した経営を進めなければならない。

【課題】

当区域は、人口増加地区であり、新規の使用者に対し接続制限をしているため、処理施設の機能強化することも検討しなければならない状況がある。新たな整備には注意を払わなければならないため、慎重な対応が必要となっている。使用料単価においても、将来における更新費用が見込まれていないことから適切な使用料単価改定の必要性が内在している。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。